

公開検討会（市民参加型ワークショップ）の意見概要（2024.7/28）

分類	意見概要 (◇検討会委員 ◎ワークショップ □アンケート)
1 コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ◎過去～現在～未来が分かり不安を取り除くことができる財政白書 ◎強いメッセージ性、具体的テーマのある財政白書 ◎顔の見える、市の意志が明確な財政白書 ◎市民それぞれのやるべきことが明確になる財政白書 ◎市が主体ではなく市民による財政白書 ◎まちのことについて議論を生み出す財政白書 ◎読んだだけで終わらず次に繋がる問いかけがある財政白書 ◎必要な情報がすべて見つけれられる財政白書 □施策を検討・立案する上でのエビデンスとなる財政白書
2 対象	<ul style="list-style-type: none"> ◇中学生以上ではなく高校生以上にしては ◎障害者にも分かりやすく
3 全体構成	<ul style="list-style-type: none"> ◇今後の取組目標⇒そのためにお金のことをみんなで考えようという流れ ◇民生費や土木費など個別の費目だけでなく、財源の状況や今までどのようにやりくりしてきたのかも意識してほしい ◎最初に3～4ページのサマリー ◎映画の予告編的な導入部分 ◎市長のメッセージ ◎読んで市民にどうしてほしいのかが書かれていない □市民の疑問に答えるにはQ&Aの数足りない
4 項目	<ul style="list-style-type: none"> ◇見せ方だけではなく、コンテンツについての議論もしていきたい ◇ふるさと納税（市税収入に与える影響など） ◇新庁舎建替えやごみ処理施設の整備による財政への影響と支払イメージ ◎具体的な予算の使用事例 ◎ターゲット別のコラム ◎なぜこれまで財政は大丈夫だったのか ◎インフラ、子育て施策は持続可能なのか ◎土木費がこども施策の費用にシフトしたのは本当なのか ◎できること、できないことを明記 ◎図書館はそんなにいらぬ □多くの市民が関心を持つ施策（小学校給食無償化と財政への影響など）

<p>5 デザイン・表現方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇マンガはクセのない絵で見やすい、シンプルで分かりやすい、関西弁で親しみが持てる ◇1ページあたりの情報量が多すぎる、グラフは1ページに1つ ◇文字数は少なく、文章は短く簡潔・簡単に ◇簡単に書きすぎると大事な要素が抜け落ちるおそれも ◇グラフから経年の増減は分かるので説明は不要とするのか、グラフから読み取れることまで説明するのか ◇QとAの場所がページによってバラバラなので統一を ◇色が多すぎて大事なところがどこなのか分からない ◇市民が知りたい情報と市が市民に伝えたい情報を整理した方がよい ◇具体的な写真を挿入することでイメージしながら読み進められるように ◇身近なものを題材に取り入れる ◇たこファミリーはジェンダーバイアスが強い ◎将来がイメージできるようなものでないと読まない ◎キャラの発言に教訓的要素が多いので、学び知ったことへの喜びの要素を ◎「○○しよう！」という発言は押し付けを感じる
<p>6 策定プロセス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎当事者である中学生からの意見を聞く □市民参加の場をもっと設ける
<p>7 発信・周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎動画、youtube ◎LINE、インスタ ◎財政情報が分かるアプリ ◎自治会の回覧 ◎広報あかしにダイジェスト版を掲載 ◎紙媒体は必要 ◎概要版の全戸配布 □財政白書の必要性を周知した方がよい